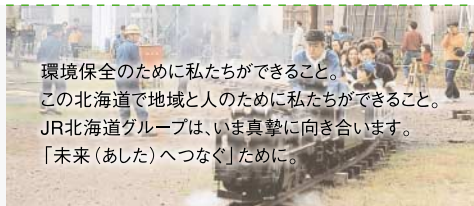


あした 未来へつなぐ



環境保全のために私たちができること。
この北海道で地域と人のために私たちができること。
JR北海道グループは、いま真摯に向き合います。
「未来(あした)へつなぐ」ために。

文＝本間 吾里砂



過去7回ご出演いただいたピアニスト・安田文子さんによるピアノ演奏が繰り広げられた「桑園・JR第100回アニバーサリーコンサート」

地域住民とのふれあいの場であり、クラシックなどの音楽を気軽に楽しむ機会。十三年目を迎えたJR北海道の「桑園・JRふれあいコンサート」

札

幌駅周辺の再開発にともない、JR北海道の本社が桑園地区に移転し、新社屋が竣工したのは、今から十四年前の平成七年十一月。そのちょうど一年後、スタインウェイのピアノが置かれた本社ロビーで「桑園・JRふれあいコンサート」が開催されました。以来、ピアノを使った演奏を中心に年七〜八回のペースで行われ、今や「ロビーコンサート」の愛称で地域に根ざしたイベントとして親しまれています。

この七月九日には、一〇〇回目を記念して『桑園・JR第一〇〇回アニバーサリーコンサート』が開かれ、記念式典の後、これまで何度かご出演いただいた安田文子さんによるピアノ演奏が繰り広げられました。

地域住民とのふれあいを目的に始まったこのコンサートは、JR北海道の社員による手づくり。出演者の選定からポスターやチケットの制作、会場づくり、司会まで、すべて自分たちでこなしています。

スタートした当初は本社周辺の飲食店やマンションを一軒一軒訪ね歩き、店内や掲示板にポスターやチラシを貼らせてもらうなど、地道にPRを重ねてきました。現在は、ポスターやチラシで宣伝する前に問い合わせの電話がかかってくることもめずらしくありません。

会場となっている本社ロビーは、パイプ椅子を並べれば二五〇名程度を収容できる吹き抜けの空間。大規模なコンサート会場と違い、演奏家を身近に感じられ、普段着で楽しめる雰囲気も魅力のひとつとなっています。

これまでピアニストの花房晴美さん、バイオリニストの木野雅之さん、ソプラノ歌手の松尾香世子さん、ジャズピアニストの福居良さんほか、さまざまなジャンルで活躍するアーティストが多数登場し、素晴らしい演奏や歌声を聞かせてくれました。次回は、平成十八年十一月に結成された道内各地の演奏会に出演している「Reia(レラ)札幌室内合奏団」によるコンサートが十月二十日に予定されています。

地域交流としてだけでなく、クラシックなどを気軽に楽しむ機会でもあり、十三年の時を経て、昨今は音楽・芸術振興にも寄与するイベントへと成長を遂げています。



100回目をPRしたポスター